

(表)

小規模建築物整備項目対応表

1 建築物の用途		2 延床面積	m ²
----------	--	--------	----------------

1 多数の者が利用するもの

整備項目	チェック		協議対象事項
	重点	整備	
			・チェック欄には、整備が出来るものは「○」、出来ないものは「×」、整備対象がない場合は「/」を記入
階段	—	—	1 段がある部分に手すりを設置
	—	—	2 表面は粗面、または滑りにくい仕上げ
	—	—	3 踏面の端部とその周囲とを色の明度、色相または彩度の差が大きいことで段を容易に識別可能
エレベーターおよびその乗降ロビー	—	—	1 かご内および乗降ロビーは、車いす使用者が乗降できる空間を確保
	—	—	2 エレベーター付近に階段等を設ける場合には、乗降ロビーに転落防止策を講ずること
特殊な構造または使用形態のエレベーターその他の昇降機	—	—	1 平成18年国土交通省告示第1492号第1第1号に規定するもの
便所口	—	—	1 便所を設ける場合には、つぎに掲げるもの
	—	—	① 床の表面は、粗面または滑りにくい仕上げ
	—	—	2 上記1に掲げるもののほか、便所のうち1以上(男女別の場合はそれぞれ1以上)はつぎに掲げるもの
	—	—	① 腰掛便座、手すり等を適切に配置
	—	—	② 車いす使用者が利用できる空間を確保
敷地内の通路	—	—	1 表面は、粗面または滑りにくい仕上げ
	—	—	2 段がある部分は、つぎに掲げるもの
	—	—	① 踏面の端部とその周囲との色の明度、色相または彩度の差が大きいことで段を容易に識別可能
	—	—	② 段鼻の突き出しその他つまずきの原因となるものを設けない構造
	—	—	3 傾斜路は前後の通路との色の明度、色相または彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能
標識	—	—	1 昇降機その他の昇降機、便所の付近に、つぎに掲げる標識を設ける
	—	—	① 利用者が見やすい位置に設置
	—	—	② 表示すべき内容が容易に識別可能 (JIS Z8210に適合するもの)
緊急時の設備・施設	—	—	1 警報装置は、光および音声によって非常事態の発生を告げる装置
手すり	—	—	1 75cm≦階段および廊下等の手すりの取付け高さ≦85cm
	—	—	2 60cm≦階段および廊下等の2段手すりの取付け高さ(下段)≦65cmならびに75cm≦階段および廊下等の2段手すりの取付け高さ(上段)≦85cm
	—	—	3 2段手すりの下段は、上段手すりの半径長さの分だけ、上段より壁から離して設置
	—	—	4 形状は円形または楕円形とし、握りやすいもの
	—	—	5 手すりと壁との空き≧4cm、手すりの下側で支持
	—	—	6 手すりの端部は、下方または壁面方向に曲げる
	—	—	7 階段および傾斜路の手すり端部の水平部長さ≧45cm
	—	—	8 階段の昇降以前の水平部分に、現在位置および上下階の情報等を点字および墨字で表示

2 小規模建築物移動等円滑化経路等

整備項目	チェック		協議対象事項
	重点	整備	
			・チェック欄には、整備が出来るものは「○」、出来ないものは「×」、整備対象がない場合は、「/」を記入
出入口	—	—	1 出入口の幅(開放時有効)≧80cm
	—	—	2 直接地上へ通ずる出入口の幅(開放時有効)≧85cm
	—	—	3 戸は自動的に開閉するほか車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし
廊下等	—	—	1 段差を設けない(傾斜路またはエレベーター併設の場合等を除く)
	—	—	2 車いす使用者が通行できる幅を確保
傾斜路(屋内)	—	—	1 表面は粗面、または滑りにくい仕上げ
	—	—	2 前後の廊下等と色の明度差、色相または彩度が大きいことでその存在を容易に識別可能
	—	—	3 こう配≦1/12(高さ≦16cmの場合はこう配≦1/8)
	—	—	4 車いす使用者が通過できる幅を確保
敷地内の通路	—	—	1 段差を設けない(傾斜路またはエレベーター併設の場合等を除く)
	—	—	2 車いす使用者が通行できる幅を確保
	—	—	3 傾斜路はつぎに掲げるもの
	—	—	① こう配≦1/12(高さ≦16cmの場合はこう配≦1/8)
	—	—	② 手すりを設置

◆整備の適合状況◆

重点整備内容合計 適合割合 %
重点整備内容対象数 適合状況

整備内容合計 適合割合 %
整備内容対象数 適合状況

$$\text{適合割合 (\%)} = \frac{\text{整備を行う重点整備内容(整備内容)の合計【〇の数】}}{\text{重点整備内容(整備内容)の対象の合計【〇×の数】}} \times 100\%$$

※「/」および「—」は数には含めない。

・適合状況には、適合割合に応じ、80%を超える場合「★★★」、60%を超え80%以下なら「★★」、0%を超え60%以下なら「★」の3段階で表示する。

なお、対象となる整備内容があるにも関わらず、整備内容合計が0の場合は「整備なし」と表示する。